



五輪優先で感染爆発 命を犠牲にするな!

成田を閉鎖し、パラリンピックの中止を

空港周辺住民のみなさん。東京五輪関連でコロナ感染者は547人と大会組織委員会が発表。24日から始まるパラリンピック関連ではすでに100人を超え、選手村滞在者の感染も確認されています。

今すぐ成田を閉鎖し、パラリンピックを中止すべきです。

●医療崩壊は菅政権による人災

五輪直前では全国で一日あたりの感染者が約2千人だったのが、8月21日の時点で全国では3日連続で2万5千人超、東京都では4日連続で5千人超、千葉県でも2日連続で1700人超となっています。全国で約10万人が自宅療養とされ病院にも入ることができない状況です。千葉では入院できなかった妊婦が自宅で出産せざるを得ず、赤ちゃんが亡くなるという事件まで起きています。

国はこの医療崩壊の事態を「災害レベル」と言いますが、自然災害ではなく人災に他なりません。



菅政権は、感染爆発を招く要因となったGoToキャンペーンには2兆7千億円。五輪には3兆円もの大金を投入。他方で、コロナ専

門病院や病床の増強やPCR検査への保険適用など必須不可欠な感染症への対応については全くと言っていいほどできていません。「すべてをかける」(菅首相)と言ったワクチン(約3千億円)ですら接種を終えた人は約4割に過ぎません。

●デタラメな入国制限の緩和

五輪前の10倍以上もの猛烈な感染爆発が起きているにもかかわらず、国は「検疫体制に余裕がある」として、16日から入国者数の制限を1日あたり2000人から3500人に緩和しました。

そもそも空港検疫ではPCR検査ではなく、精度が劣る抗原検査しか行っていません。動線分離もままならず「バブル」ははじけっぱなし。「水際対策はスカスカ」であることはオリ・パラ関係者約650人がコロナに感染していることから明らかです。

しかも、東京五輪開催中にデルタ株に続いてラムダ株感染者(五輪関係者)が羽田空港から入ってきたことがわかっています。ところが、厚生労働省はその報告が遅れたのみならず、濃厚接触者の候補者リストを関係機関に送っていません。どの便のどこの席かすら公表していません。

国は命を守る立場に立つのではなく、オリ・パラを最優先していると思えません。

さらなる医療崩壊を招くパラリンピックはただちに中止し、その予算のすべてコロナ対策にまわせ! の声を共に上げましょう。

市東さんの農地を守ろう！ 第3滑走路粉碎！ 菅政権打倒！

10・3全国集会に集まろう！



全国総決起集会（2018年4月1日 成田市栗山公園）

10月3日、私たちは成田市栗山公園で全国総決起集会を開催します。みなさんの参加を呼びかけます。コロナショックが成田を直撃し、空港需要バブルははじけ飛びました。全世界で空港の存在意義が問われているにもかかわらず、成田空港会社は空港拡張を推し進めようとしています。市東さんの農地取り上げ強制執行は絶対に認めることはできません。私たちの命を切り捨て、改憲へと突き進む菅政権を全国の仲間と共に倒しましょう。

【日時】10月3日（日）正午

【会場】成田市栗山公園（京成・JR成田駅から市役所方向に徒歩5分）

相川勝重芝山町長による言論・集会弾圧を許すな！

審査請求 審理員のコロナ陽性で意見陳述が延期

相川勝重芝山町長による空港機能強化反対集会への芝山文化センター会場貸し出し拒否の撤回を求める審査請求の口頭意見陳述が芝山町役場で8月19日に行われる予定でした。ところが、芝山町から審理員が新型コロナ陽性となったために延期すると連絡が入りました。日程は9月以降で再調整となります。人数制限はありますが傍聴もできます。詳しいことが決まり次第お知らせしますので、反対同盟ツイッターやブログにご注目ください。

機能強化を撤回せよ！ 2021年上期（1～6月）

国際線旅客数が過去最低に

7月29日、成田空港会社（NAA）は今年上期（1～6月）の成田空港の運用状況を発表しました。国際線と国内線を合わせた総旅客数は前年同期比79%減、一昨年（2019年）の同時期と比べると92%減の173万7225人でした。

国際線旅客数は68万6237人（前年同期比89%減）となり、開港以降上期として過去最低となりました。成田開港は78年の5月20日です。6月30日まで40日ほどしかなかった78年よりも今年上期は少なかったのです。

感染症対策を考えると狭い飛行機は危険です。国境を越えた行き来も制限せざるを得ません。変異株が次々とあ

らわれ、ワクチンの効果も限定的であることがはっきりする中で飛行機を満杯にして飛ばすことは自殺行為にほかなりません。

また気候変動も深刻です。その大きな原因の一つが航空産業にあります。大量の化石燃料を消費し、二酸化炭素を排出する飛行機を気軽に乗る時代は終わりました。

感染症対策や地球環境を考えればコロナ以前に需要が戻ることはありません。

空港機能強化は右肩上がりの航空需要予測を根拠に進められてきました。デタラメな航空需要にもとづく空港拡張計画はただちに撤回すべきです。

田村明比古^{NAA}社長に怒りの声を！

- ☆市東さんの農地を奪うな！
- ☆騒音・落下物被害をなくせ！
- ☆飛行時間延長を今すぐやめろ！
- ☆空港機能強化を白紙に戻せ！
- ☆空港労働者への感染対策を行え！

【抗議のあて先】

〒286-0104

千葉県成田市古込字古込1-1

TEL: 0476-34-5400

成田国際空港株式会社 田村明比古 殿



地域住民の声

今回は横芝光町の住民から。飛行時間を守るという大事な約束を簡単に破り、無法・無謀な空港建設を進める空港会社に共に怒りの声を上げましょう。

◆農民を力で排除した時と今空港会社のやっていることはまったく同じ。 横芝光町 農業

農地取り上げの成田空港は、大地を打てば〜と大合唱し、杭に自らの体を鉄鎖でくくり付けて抵抗した農民を力で排除して、貴い命も失ってつくった。その対立の歴史に終止符を打とうと運輸大臣が「謝罪」して「共生」が始まった。その大事な約束「飛行時間は午前6時から午後11時」を今回の「成田空港機能強化」はいとも簡単に破った。

社会的変化ということだが、同意をしぶる横芝光町に、陰に陽に政治的圧力をかけて「同意」に持ち込んだのは、権力づくで農地を取りあげ

たあの時とまったく同じだ。62コンターに入る騒音下の住民のささやかな要求には、かたや「移転させる」、かたや「法律で移転させることはできない」と住民差別を持ち込む、法治国家であるまじき無法ぶり。「地域振興」も絵に描いた餅で、横芝光町長が「いまだにゼロ」と言っている。

騒音化に住んでいるものにとっても「成田空港ができて何が良くなったの?」、開港から40数年成田空港は繁栄を続けたが、周辺住民には「騒音被害」が「小鳥のさえずりに聞こえる利益」はなにももたらさなかった。

今コロナ下で旅客は激減して空港会社も航空会社も巨大な赤字が続いている。そんな「社会情勢の変化」の中で新たに滑走路を造るのは無謀というほかはない。それでも造るとするのは「利権約束」のための建設ではないかというよりほかはない。

「あとは野となれ山となれ」か。住民犠牲の上に空港建設は、農地取り上げで農民を犠牲にした時とまったく同じで「共生」を台なしにして、また住民対空港の対立をつくりだした。

9・13耕作権裁判 & 千葉地裁デモ

9月13日(月)

午前9時 千葉市葭川公園集合 ~千葉市街地をデモ

午前10時30分開廷 千葉地裁601号法廷

※コロナの状況次第で期日取り消しの可能性もあります。ブログ・ツイッター等でご確認下さい。